

凡例 Legend

1. 明治24(1891)年濃尾地震における建物被害

①全壊率(全壊数)  
 ※全壊率=全壊数/全戸数

②半壊率(半壊数)  
 ※半壊率=半壊数/全戸数

③全戸数

	①全壊率	②半壊率
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:red;"></span>	80-100%	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:magenta;"></span>	60-80%	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:yellow;"></span>	40-60%	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:orange;"></span>	20-40%	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:green;"></span>	0-20%	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; border:1px dashed black;"></span>	不明	

【資料】  
 飯田波事, 1979, 明治24年(1891年)10月28日濃尾地震の震害と震度分布, 愛知県防災会議地震部会, 30p.

【注】  
 本図には、災害発生当時の市町村名を表示している。図中で、市町村名のみを記載した市町村は、資料中に被害報告の記載はないものの、実際には被害が生じていた可能性がある。なお、本図に表示した市町村界は、災害発生時期に近しい年代の状況を調査資料に参考表示したものであり、災害発生当時の市町村界とは一致しない場合がある。

2. 明治24(1891)年濃尾地震における液状化地点

- 町村名や大字など、複数の集落で構成される地域名で特定される地点
- ▲ 集落名や町丁目など、地区名で特定される地点
- ⊗ 番地や集落内の小字名など、地点に近い情報で特定される地点
- 正確な範囲が特定されている地点
- 正確な位置が特定されている地点

【資料】  
 若松加寿江, 2011, 日本の液状化履歴マップ745-2008, 東京大学出版会

3. 明治24(1891)年濃尾地震における地震断層

— 梅原断層

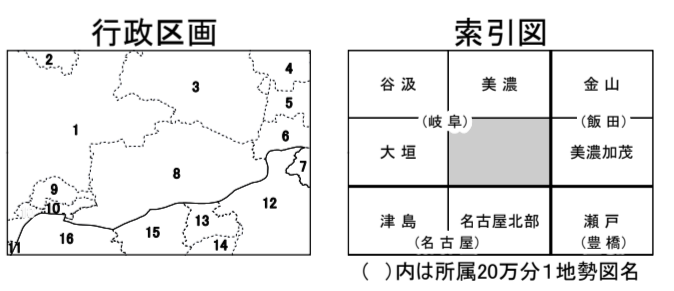
【資料】  
 鈴木康弘・杉戸信彦, 2010, 1:25,000岐阜県活断層図, 岐阜県, 138p.

(その他)

- 都府県界
- 大正9年(1920)年の市町村界

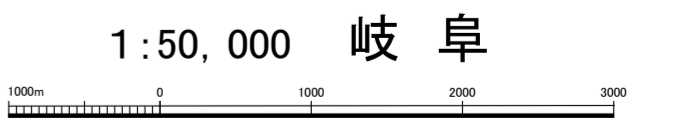
摘要

- 経緯度の基準は世界測地系
- 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第53帯、中央子午線は東経135°
- 作業機関 株式会社地域開発コンサルタント
- 背景地図 数値地図50000(地図画像)平成9年修正
- 対応する二次メッシュコード 533606, 533607, 533616, 533617



岐阜県  
 1.岐阜市 2.山県市 3.関市 4.富加町  
 5.美濃加茂市 6.坂祝町 7.可児市 8.各務原市  
 9.岐南町 10.笠松町 11.羽島市

愛知県  
 12.大田原市 13.扶桑町 14.大口町 15.江南市  
 16.一宮市



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、数値地図50000(地図画像)、数値地図25000(土地条件)及び基礎地図情報を使用した。(承認番号 平23情使、第492号)」